



さいたま市立大宮南中学校

わかとり

学校教育目標

輝く個性 夢きらり

学校だより 5月号

令和8年4月30日(木)発行

〒330-0834

さいたま市大宮区天沼町2-362

TEL 641-1142 FAX 641-5356

あいさつに心を込めて

校長 亀井 隆司

校庭の木々も青々と新緑をたたえ、すがすがしさをを感じる季節になりました。新年度が始まって3週間程が過ぎ、1年生を迎えての委員会や部活動等も始まりました。最高学年となった3年生の頼もしい姿や先輩となり少し引き締まった表情の2年生の姿も校内の様々な場面で見られます。大宮南中学校の1年1年積み重ねてきた歴史が、またここで引き継がれたことを実感します。

ここで大宮南中学校の自慢話をさせていただきます。それはあいさつです。本校の多くの生徒たちが気持ちの良いあいさつができます。朝、正門に立って登校指導をしている時は「おはようございます」、下校指導の際も「さようなら!」とさわやかに声をかけてくれます。部活動の時間、体育館やグラウンドに顔を出すや否や大きな声で部員たちがあいさつをしてくれます。私が授業中、教室の後ろからクラスの様子を眺めていると、目があつた生徒が会釈をしてくれます。私が車の中に居るときでさえも、目が合えば会釈してくれるのです。このたった数秒間とかからないコミュニケーションが心のつながりを感じさせてくれ、心に潤いを与えてくれます。

「挨拶(あいさつ)」という言葉の意味を調べてみると、「挨」という字は「開く」という意味があり、「拶」という字は「迫る」という意味があるそうです。つまり挨拶(あいさつ)というのは「心を開いて相手に迫る」と言えるそうです。

世界中のどこの国でも挨拶を意味する言葉はあります。それは、どんな文化があり、どのような言語を使用するとしても、あいさつは重要なものであることを示しています。人と人とが人間関係を築く上で、あいさつは欠かせないものであると私は捉えています。世の中のICT化が進み、メールなどの文字によるコミュニケーションに加え、オンライン上での映像を通してのコミュニケーションも増えました。便利になっていく世の中ですが、直接顔を合わせ、あいさつから始まるコミュニケーションに勝るものはありません。また、心を込めたあいさつができると、その人の良さが一層引き立ち、場合によってはたった一言のあいさつからその人の人生を変えることもあると感じています。

あいさつは誰でも気軽に行うことができるものです。心を込めたあいさつをすることによって、心の通い合う人間関係を作り、元気で温かな大宮南中学校であり続けられたら、とてもうれしいです。